

国立がん研究センター

患者とともに歩む、切れ目のない支援で 「がんを負けない国へ。」



国立がん研究センター中央病院
患者サポートセンター
看護師長
藤井恵美さん

国立がん研究センターは1962年の開設以来、日本のがん対策を牽引し、がん研究・がん医療をリードし続けている。同センター中央病院患者サポートセンターの看護師長、藤井恵美さんに話を聞いた。

「がん医療が進歩し、『がんと共に生きる』時代へと変化しています。多くの患者さんが、治療と日常生活を両立しています。であれば、がん患者さんに対する支援のあり方も変わっていくべきです」

国立がん研究センター中央病院で患者支援に携わる看護師長の藤井恵美さんはこう力を込める。

同院は全国からがん患者を受け入れ、がん医療を提供するリレーディング・ホスピタルだ。難治がんや希少がんの受け入れも多く、研究部門と連携した臨床試験や治療法開発にも貢献する。最近では遠隔地のがん患者へのオンラインセカンドオピニ

オンを開始するなど、情報提供にも力を入れており、取り組みは、患者支援の領域にも及

ぶ。同院では「患者サポートセンター」を設置し、初診時から日常生活への復帰まで一体的な支援にあたっている。

求められる支援は多様化 専門職が連携してサポート

「がん治療と日常の両立は簡単ではありません。仕事を続けられるのか、育児や介護をどうすべきか、出産や妊娠は可能なのか――。求められるサポートは

がんの病名や進行度、患者さんのライフステージなどによって多様で、医師や看護師だけでなく、栄養士やソーシャルワーカー、臨床心理士などさまざまな専門職の力が必要です。治療後を見据えた各地域との医療機関との連携も欠かせません。患者サポートセンターでは多職種が連携し、患者さんに寄り添い、切れ目のない支援体制を構築しています」

同センター利用者は1日約200人に上る。ニーズは強まっ

ているが、患者家族が必要とするケアや支援の多くが診療報酬の対象外で、取り組みを進めていくには困難もある。

それでも藤井さんは「がんとの共生を目指す以上、患者さんやご家族の支援は不可欠。実践を通じてその重要性を示すこともまた、がん研究センターの使命だと自負しています」と前を向く。

がんと共に生きる時代の実現に向けて、歩みは止めない。

お問い合わせ



国立がん研究センター基金
The National Cancer Center Foundation

国立がん研究センター 寄付募集担当

☎03-3547-5201 (内線2240、2949)
メール: ncckifu@ncc.go.jp

国立がん研究センター東病院 事務部寄付担当

☎04-7133-1111 (内線91460)
メール: kifu@east.ncc.go.jp

